

いばらきネットモニター
森林・山地災害に関するアンケート調査

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和元年7月4日(木)～令和元年7月16日(火)まで

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数：517名（県内モニターのみ）

回収率：48.7%（回収数 252名）

回答者の属性：（百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある）

		回答者数	比率
全体(n)		252	100.0
地域別	県北	33	13.1
	県央	91	36.1
	鹿行	16	6.3
	県南	83	32.9
	県西	29	11.5
性別	男性	137	54.4
	女性	115	45.6
年齢別	16～19歳	2	0.8
	20～29歳	8	3.2
	30～39歳	42	16.7
	40～49歳	56	22.2
	50～59歳	69	27.4
	60～69歳	35	13.9
	70歳以上	40	15.9
職業別	自営業	21	8.3
	会社員	83	32.9
	団体職員	8	3.2
	公務員	3	1.2
	主婦・主夫	59	23.4
	学生	2	0.8
	無職	51	20.2
	その他	25	9.9

(2) 調査目的

県民の皆様の防災意識と、集落周辺の山地災害の危険がある箇所の認知度を把握するものです。

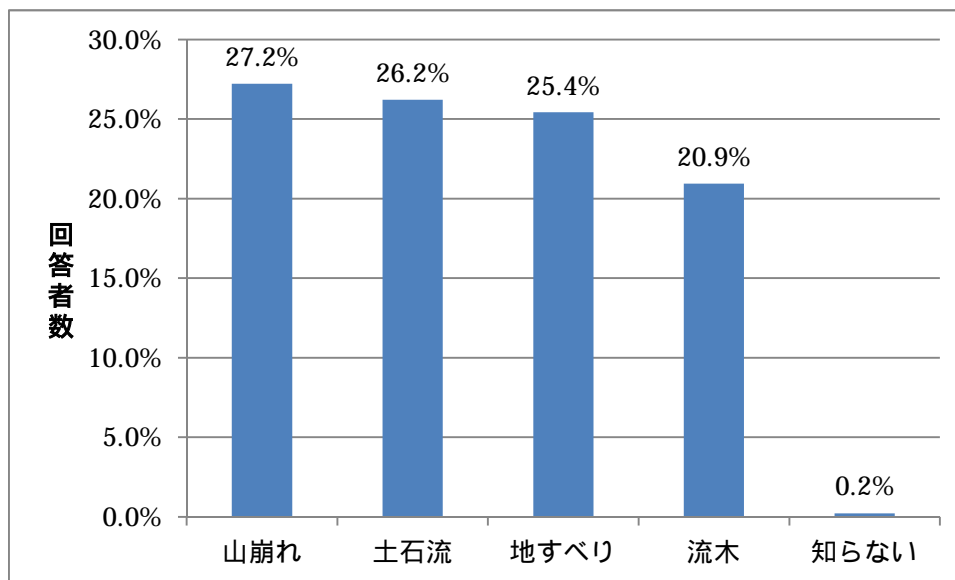
【担当課】 茨城県農林水産部林業課（林地保全担当）

電話：029-301-4056 E-mail：ringyo3@pref.ibaraki.lg.jp

2 調査結果及び考察

【問1】(山地災害の認知)

あなたは、豪雨等によりどのような山地災害が発生するかを知っていますか。ご存知のものをすべて選んでください。(複数回答可)

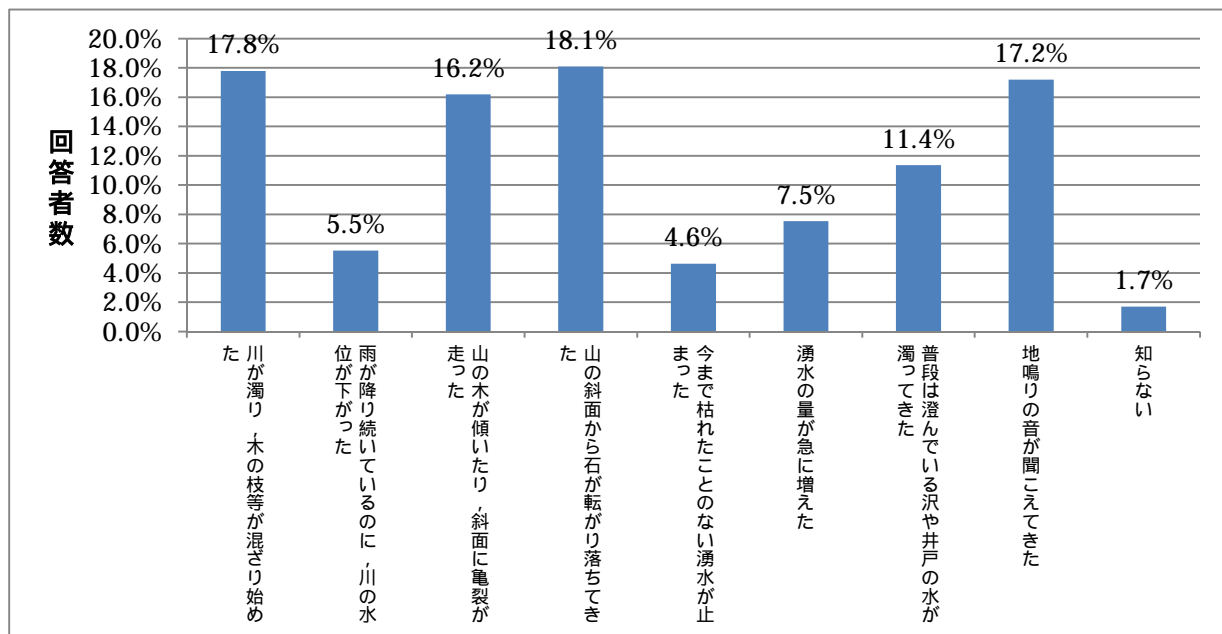


知っている豪雨等により発生する山地災害は、「山崩れ」が27.2%と最も多く、次いで「土石流」が26.2%と多かった。

以降、「地すべり」が25.4%、「流木」が20.9%の順となっており、「知らない」は0.2%だった。山地災害については、ほとんどの人が認知している結果となった。

【問2】(山地災害の前兆の認知)

あなたは、山地災害が発生するときに見られる前兆を知っていますか。ご存知のものをすべて選んでください。(複数回答可)

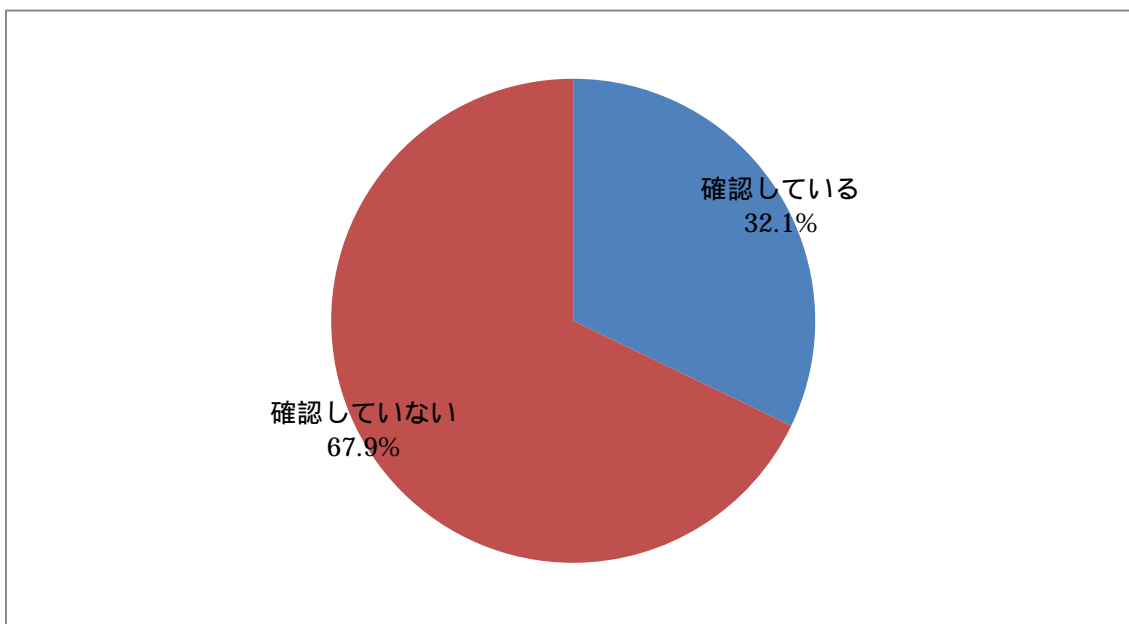


山地災害が発生するときに見られる前兆として、「山の斜面から石が転がり落ちてきた」を知っている人が 18.1%と最も多く、次いで「川が濁り、木の枝等が混ざり始めた」が 17.8%と多かった。

以降、「地鳴りの音が聞こえてきた」が 17.2%、「山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った」が 16.2%、「普段は澄んでいる沢や井戸の水が濁ってきた」が 11.4%と続き、「知らない」と答えた人は 1.7%であった。山地災害の前兆の認知については、ほとんどの人が山地災害が発生するときに見られる前兆を知っている結果となった。

【問3-1】(山地災害への備え)

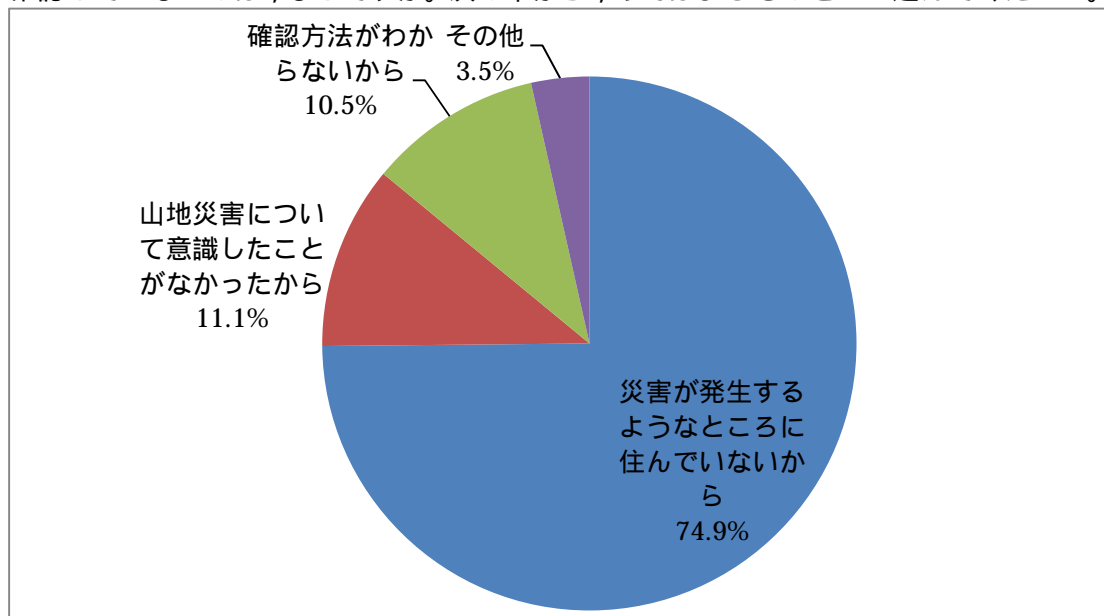
あなたは、山地災害が発生するおそれのある場合に避難できる場所を日頃から確認していますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



山地災害が発生するおそれのある場合の避難場所を日頃から「確認している」人は32.1%、「確認していない」人は67.9%となり、約7割の人が山地災害への備えが不十分である結果となった。

【問3-2】(山地災害への備え)

(問3-1で「2 確認していない」を選択された方にのみお伺いします。) 確認していないのは、なぜですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

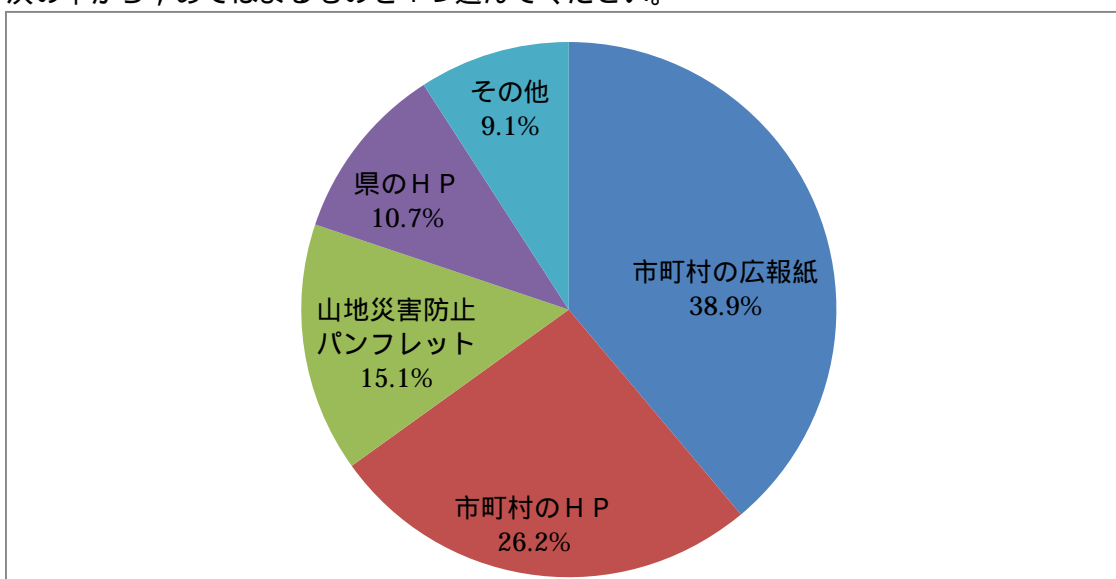


山地災害の避難場所を確認していない理由として、「災害が発生するようなところに住んでいないから」が74.9%と最も多く、次いで「山地災害について意識したことがなかったから」が11.1%「確認方法がわからないから」が10.5%となった。

その他としては、「山地災害時の避難場所に指定されてる場所がないから」、「適切な避難場所が近くにない」等の回答があった。

【問4】(情報収集の適切な方法)

あなたは、山地災害発生時の対応を知ることができる方法は何が適当だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



山地災害発生時の対応を知ることができる適切な方法として、「市町村の広報紙」が38.9%と最も多く、「市町村のHP」が26.2%と次に多かった。

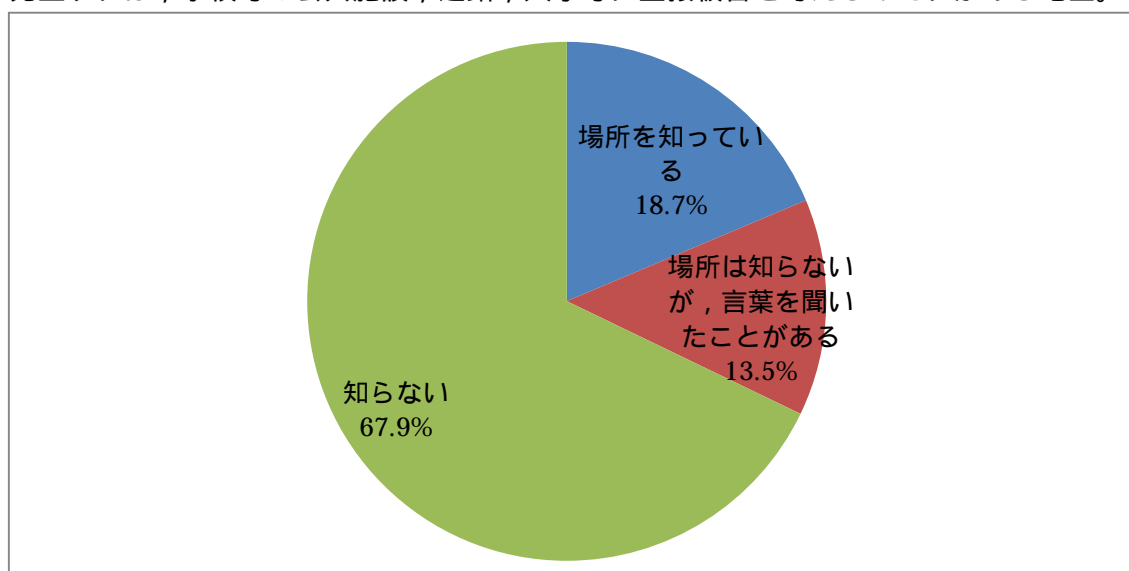
以降、「山地災害防止パンフレット」が15.1%、「県のHP」が10.7%となっている。

その他としては、「エリアメール等の市町村からの緊急速報」、「回覧板」等の回答があった。

【問5】(山地災害危険地区の認知度)

あなたは、お住まいの地域に存在する山地災害危険地区を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

【参考】山地災害危険地区：地形、地質、森林の状況からみて、豪雨等により山地災害が発生すれば、学校等の公共施設、道路、人家等に直接被害を与えるおそれがある地区。



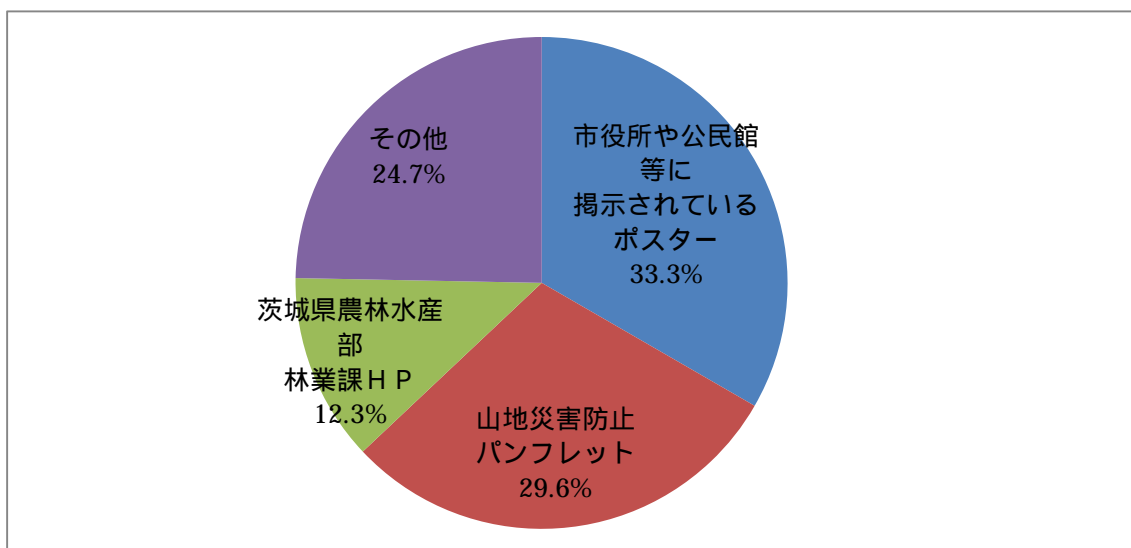
地域に存在する山地災害危険地区の認知度については、「場所を知っている」と回答した人が18.7%、「場所は知らないが、言葉を聞いたことがある」が13.5%となっており、「知らない」が67.9%であった。

山地災害危険地区の認知度については、約7割の人が地域の山地災害危険地区を認知していない状況であることがわかった。

【問6】(山地災害危険地区の認知度)

(問5で「1 場所を知っている」、「2 場所は知らないが、言葉を聞いたことがある」を選択された方のみお伺いします。)

あなたは、山地災害危険地区をどのように知りましたか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



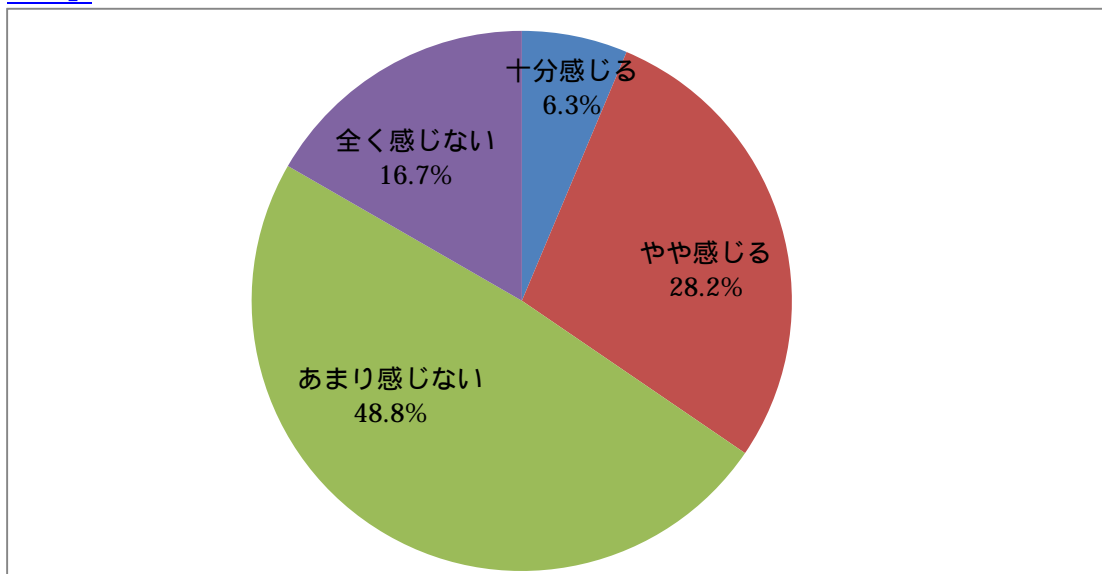
山地災害危険地区を知った方法として、「市役所や公民館等に掲示されているポスター」が33.3%と最も多く、以降、「山地災害防止パンフレット」が29.6%、「茨城県農林水産部 林業課HP」が12.3%となった。

その他としては、「防災マップ」や「市町村HP」等があった。

【問7】(山地災害危険地区の周知)

現在、山地災害危険地区について、茨城県林業課HPで一覧表を、いばらきデジタルマップで位置図を公開していますが、山地災害危険地区の周知は十分だと感じますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

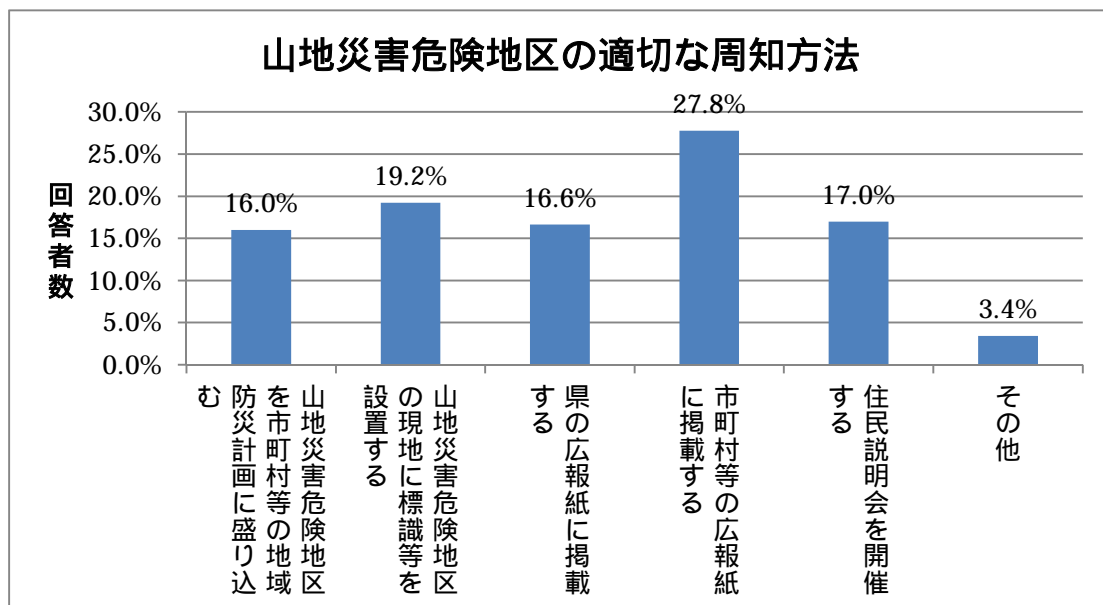
【URL:http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/ringyo/rinchi/ringyo_sanchisaigai.html】



山地災害危険地区の周知が十分であるかについて、「十分であると感じる」が6.3%、「やや感じる」が28.2%、「あまり感じない」が48.8%、「全く感じない」が16.7%となり、周知が不足であると感じている人が約7割という結果になった。

【問8】(山地災害危険地区の周知)

あなたは、どのようにすれば、山地災害危険地区が広く知られるようになると思いますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)

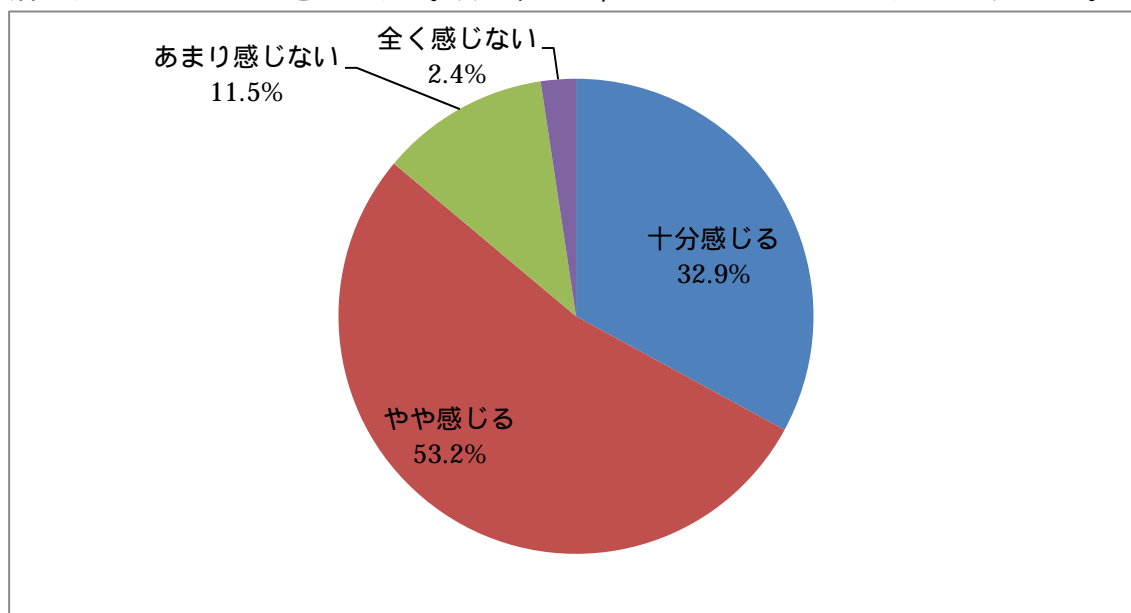


山地災害危険地区の周知方法については、「市町村等の広報紙に掲載する」が 27.8%と最も多く、「山地災害危険地区の現地に標識等を設置する」が 19.2%と次に多かった。

その他としては、「地図で危険地域を赤く表示する等の一目で分かる表示をしてほしい」、「地図で危険度が解るようにしてほしい」等があった。

【問9】(山地災害危険地区の防災対策への活用)

あなたは、山地災害危険地区について、詳しく知ることができたら普段の防災対策に活かすことができると感じますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



山地災害危険地区を詳しく知ることができたら、普段の防災対策に活かすことができるかについては、「十分感じる」が 32.9%、「やや感じる」が 53.2%、「あまり感じない」が 11.5%、「全く感じない」が 2.4%となり、ほとんどの人が山地災害危険地区の知識が防災対策に活かせると考えていることがわかった。

【問 10】(山地災害危険地区の防災対策への活用)

その他ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。(意見数 57 件)

<主な意見>

○山地災害危険地区の周知について(21 件)

「まずは色々な手段を用いての周知徹底だと思います。知らなければ話にもならない。」

「日頃住んでいない人がたまたま遊びにきた時にでも危険エリアがわかるようにして
いってほしい」 等

○防災情報の共有について(4 件)

「自分の住んでいる地域の情報として各自が把握する方法を隣近所で共有する方策、
あらゆる機会を通して伝える。」

「昨今の異常気象による、猛烈な雨量による災害が頻繁に発生している状態において
も、災害対策は市町村が基本となっているが、もっと広域で対策を講じるべきでは
ありませんか。」 等

○防災対策の提案(11 件)

「HP でいつでも見られる資料はとてありがたいと思います。しかし、ネットリテラ
シーの低い方は紙媒体が良い、それも文字を大きく図も入ったものが良い、と思い
ます。」

「危険地区がわかっているのだから災害が発生しても危険地区の住民が避難しなくて
済むような対策をするべきだ。」 等

○アンケートの感想(16 件)

「鹿児島等で避難勧告されていてもここは大丈夫と思っている方を TV で出みて、災害
は何時どこで何が起きるかわからないと言う怖さを各々が持ち、常日頃の備えと先
人の教えを守るべきと思います。」

「自分の住む地域は大丈夫だからと思わず、日ごろから確認しておくようにしたい。」
等

○その他(5 件)

「大雨の時に小学校の前の道路が冠水して通行出来なかった。どこに避難すればいい
のか今もわからない。」 等